

< 運営推進会議における評価 > ※公表用 (R7年度)

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護大島
所在地	(〒 940 - 2104) 新潟県長岡市大島町字谷内甲 1161 番地		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

当事業所は「高齢者総合ケアセンターこぶし園」内の一事業所として、園全体の理念「その人が築き上げてきた暮らしを支えます」のもと、ご利用者の皆様への介護・生活支援および地域に対する貢献・啓発活動を行い、地域の拠点としての役割を果たせるよう日々事業運営に努めております。

園の理念や方針に基づき、今年度の事業所目標として1つ目に「ご利用者の生活背景・病状を理解し、本人様が望む生活が続けられるよう支援を行う」を掲げ、看護小規模多機能型居宅介護のサービスの特性を活かし、ご利用者の意向やニーズ、状態変化、世帯の状況に合わせ、臨機応変かつ柔軟に「通い・宿泊・訪問・訪問看護」の利用調整を行うとともに、事業所だけでなく医療機関や行政、インフォーマルサービス等の関係多職種との連携も図りながら、住み慣れた自宅での生活が継続できるよう支援を行っております。

また、2つ目に「気軽に果たす立ち寄れるセンター作りに努め、地域での福祉の拠点としての役割を果たす」を掲げ、地域交流スペースを常時開放し、地域の皆様にご利用頂いている他、長岡市委託のオレンジカフェ（認知症カフェ）を毎月開催し、認知症の啓発はもとより、介護・生活に役立つ情報提供や、地域住民同士の活動・交流の場として、介護予防の視点や機能も意識しながら取り組みを行っております。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2025 年 11 月 29 日	従業者等自己評価 実施人数	(16) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2026 年 2 月 19 日	出席人数 (合計)	(9) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	■自事業所職員 (2 人) ■市町村職員 (1 人) ■地域包括支援センター職員 (1 人) ■地域住民の代表者 (2 人) □利用者 (0 人) ■利用者の家族 (1 人) ■知見を有する者 (2 人) □その他 (0 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	6. R7.2.20 の運営推進会議において委員の方々には周知を図り、今後の設置方法や場所については、目立つように工夫を行う。	6. 今年度から議事録の開示方法を従前からの閲覧用ファイルに加え、最新のものは事業所エントランスに掲示し、誰でも気がつき見やすいように工夫（改善）を行った。	6. 最新の議事録を掲示形式で開示した（より見える化した）ことにより、今までよりも第三者の方が事業所の運営状況等を把握しやすくなった。 また、事業所見学や相談に来所される方にも、事業所を知って頂くツールとしても活用できるようになった。	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	27. 引き続き看取りのご希望があった際には実現できるよう環境を整えとともに、周囲にそのような体制が平時から準備ができていることを利用開始時や状態変化時などに意識して頂けるよう働き掛けていく。	27. 利用相談の時点からご利用者の意向や状況に応じ、看取りまで対応が可能であることを、本人様やご家族に説明を行うようにした。	27. 利用相談時にサービスのしくみを説明する中で、看取りまで対応可能であると思っておられる方が皆無な傾向であり、支援の選択肢の一例として説明を続けていく必要性を感じた。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	(策定なし)		
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	40. 運営推進会議においてケース検討を行う際に看護師や介護職員の同席を、難しい場合はそれぞれの意見を盛り込んだ内容で進めていく。 また、サービスの特性上、独居者の割合が多かったり、拒否をされるため、参加頂く	40. 独居のご利用者が全登録者の 2/3 以上を占めることやサービスの特性上、短期間で利用終了となる方が多かった傾向から、前年度は運営推進会議のご家族代表委員が不在な状況が続いていたが、今年度はお引き受	40. 今年度、ご利用者代表委員が欠席の場合は事前に意見を伺ったり、ご家族代表委員が定まったことで、実際にサービスをご利用頂く中での直接的なご意見やご感想を伺うことができるようになり、事業所運営やご利用者ケアへの参考材料が増えたり、職員

		<p>ことが難しい状況が続いているが、引き続き利用者及び家族に対し委員の打診を続けていく。参加が難しくとも満足度調査によって得られるご意見をしっかりと反映することで課題検討の一助としたい。</p>	<p>け頂ける方を見出すことができ、会議への参加協力を得られる状況となった。</p> <p>また、ご利用者代表の方が欠席の場合は事前にご意見等を伺ったりと、段階的改善を行った。</p> <p>今年度下半期（R8.12月）からの運営推進会議に、現場の介護職員からも出席してもらうようにした。次年度も人員・業務の状況を勘案し、可能な限り出席できるよう調整を行っていく。</p>	<p>のモチベーションアップにもつながることとなった。</p>
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<p>(策定なし)</p>			

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	(策定なし)	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	(策定なし)
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<p>31.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議を通じ、事業所および出席者間で様々な視点から情報交換が行われている。 ・会議にて実際の事例を検討する機会を設け、具体的な対応案や方向性を見出し、マネジメントにつながるよう努めている。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【運営推進会議における意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の場が地域課題の抽出や情報提供、互いの学びの場となっている。今後も同様に積極的な情報交換の場となることを期待します。 ・事例検討の実施等、参加者による検討が行えるように会議が開催実施されている思います。 <p><u>建物の構造上、会議の際に事業所の様子を窺うことができないため、普段の様子を写真等で拝見させて頂けると、なお良いと考えます。</u></p>

<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)</p>	<p>33.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市の委託事業である「オレンジカフェ(認知症カフェ)」を毎月開催し、参加者への啓発や情報発信を継続している。 ・また、園内他事業所と協働し、小学校の福祉体験教室への参画も行っている。 ・事業所の地域交流スペースを地域の方に開放し活用して頂くことを通じ、事業所およびサービス、地域の拠点としての存在のPRを行っている。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【運営推進会議における意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェの開催など啓発活動や地域に向けた情報発信をされていると思います。<u>コミセン等でのイベントにも積極的に参加することで地域交流を通し、啓発に結びつけることができるか</u>と思います。 ・地域交流スペースが使えるということはこの職に就いて初めて知りました。<u>もっと多くの方に知って欲しいな</u>と思います。 ・地域住民への福祉教育の一翼を担っていると感じます。<u>今後もその間口を広く開放して頂くことに期待</u>します。 ・オレンジカフェでの様々な講座の開催等、啓発活動に関する取組に対して工夫をされていると感じます。 	<p>33.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの地域の方に地域交流スペースを活用して頂けるよう、PR活動を行っていく。 ・毎月のオレンジカフェ開催に加え、新型コロナ禍前に実施していた8/2、8/3の「長岡花火鑑賞会」を復活させ、ご利用者ご家族や地域の皆様に足を運んで頂くことで事業所や地域交流スペースの存在を知って頂いたり、花火鑑賞の会場を提供することで地域貢献につなげる。 ・圏域のコミセンをはじめ、地域や関係機関のイベントへの参加の機会を作り、事業所やサービス等のPR、情報発信を行う。 (※人員・業務の状況を勘案しながら、可能な範囲で)
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)</p>	<p>(策定なし)</p>	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・利用者本人が「どのように過ごしたいか、どのように生活したいか」をいつも第一に考えながら柔軟に対応していると感じます。今後も継続をお願いします。 ・どこまでがサービス内容の範囲なのかははっきりとは分らないが、事細かくサポートして頂いていると思う。 ・ご利用者及び地域住民の方々が交流を持てるように引き続きオレンジカフェの開催等、地域福祉の拠点としての取組を実施頂ければと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員		○			<ul style="list-style-type: none"> ・職員の方ひとりひとりが、理念に沿った行動をされている 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	がその内容を理解し、実践 している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・事業所理念や年間目標を職員の見やすい所に 掲示およびファイリングし、常に意識し ながらサービス提供ができるようにして いる。				と思います。 ・今後も継続をお願いします。 ・職員の皆様が理念、目標を共 有しやすくなる取組を継続し て実施して頂ければと思いま す。	します ✓ 独自の理念等が明確化されてい ない場合は「全くできていない」
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通 じて、各職員の中長期的な 育成計画などを作成してい る		○			・利用者の満足度と合わせ職員 の満足度や充足感、モチベー ション向上のためにも継続を お願いします。 ・引き続き面談等を通じて個々 の状況に応じたスキルアップ に取り組んで頂き、ケアの質 の向上に繋げて頂ければと思 います。	✓ 「育成計画の作成」の状況につい て、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画 などを作成している場合は「よく できている」 ✓ 育成計画などを作成していない 場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機 会を育成計画等に基づいて 確保するなど、職員の専門 技術の向上のための日常業 務以外での機会を確保して		○			・職員全員の学びの機会が持て るように配慮して頂ければ と思います。 ・日常業務に追われる中、法人 外の同職種の人と接するのは	✓ 「専門技術の向上のための日常 業務以外での機会の確保」につい て、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	いる	<p>の推奨や啓発も行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園および法人研修、外部研修については案内が届いた時点で全職員に周知し、希望者を募り（もしくは個別に指定し）参加の機会を確保している。 				<p>とても良いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の皆さんに広く学びの機会があることが感じられ良いと思います。 ・資格については事業所だけでなく、法人も含めて取得の計画と管理を行ってください。 	
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・この項目については徹底して対応されていると感じています。今後も継続をお願いします。 ・ICT機器を活用した情報共有に積極的に取り組んで頂いていると感じます。事故やトラブル等の情報共有につきましては仕組みだけでなく、心理的な面も意識して共有しやすい環境作りをしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に記録タブレット（ICT 機器）を活用し、多職種間やチーム内で迅速に情報共有ができるようにしている。 ・また、日々の昼礼や各月のミーティングにて、情報共有を図っている。 ・事故やトラブル等が発生した際は、当日の勤務者間で検証を行い、当面の対応策や再発防止策を立案し実践を行っている。また、翌日以降の勤務者にも伝達を行い統一した対応ができるように努めている。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・会議で交わされた意見が現場で活用されることに期待します。 ・議事録等のご利用者、ご家族、及び第三者にとって事業所の内情を知るツールであるため、開示方法に関する改善を継続して頂ければと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・職場では人間関係と就業環境が大きくウェイトを占めていて、これにより不満が生じることが多い。管理者の方は大変苦労されると思うが配慮されている職場で素晴らしいと思う。 ・サポートセンターの職員の方たちは利用者さんが安心して 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>軽減に向け連続した勤務日が長く続かないよう努めている。</p> <p>・また、積極的な年休の取得にも取り組んでいる。</p>				<p>過ごせている反面、休みが取れているのか少し心配していましたが、自己評価を見て安心しました。職員さんあつての利用者さんだと思います。この体制を維持して欲しいです。</p> <p>・いつも利用者へのきめ細かい対応には目を見張るものがあります。業務に当たっている職員の皆さんが安全に働ける環境が必須であると考えますので今後もぜひ継続をお願いします。</p> <p>・引き続き働きやすい職場環境作りを実施頂ければと思います。</p>	
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、	○				・今後も継続と必要時の対応をお願いします。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い			
	必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・上記5を参照。 ・加えて、ご利用者情報に変更が生じた際は、その時点でケース台帳等の更新（紙媒体およびデータ）を行うようにしている。				・引き続き情報共有に関する取組を実施頂ければと思います。	2つの視点から、充足度を評価します	
(5) 安全管理の徹底								
① 各種の事故に対する安全管理								
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	○				<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・上記5を参照。 ・介護事故防止だけでなく、車両事故や労災の防止に係る啓発を随時行っている。 ・また、パソコンや記録タブレット等の情報の通信および共有機器を使用していることから、パスワード設定等で管理を工夫し情報漏洩防止を徹底している。	・4月以降（今年度）は事故報告はなく、ヒヤリハットが毎月5件前後上がっていました。リスクに対する感度が高く、その時の状況を職員で即座に共有できる環境を維持して頂きたいと思います。 ・いちばん大切なことだと思います。 ・項目7と同様、職員・利用者の両者が安心して関わるができるよう継続と必要時には見直しをお願いします。 ・引き続き、事故や労災の発生の防止に関する取組を実施してください。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるように、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		○			<p>・会議での報告から平時より防災意識の高さを感じています(加えて玄関ホールにハザードマップが掲示されていたように思います)。様々な状況における利用者だけでなく職員の安全確保のためにも継続をお願いします。</p> <p>・引き続き災害時の対応に関する取組や防災訓練を実施頂き、また、地域等との連携に関する仕組み作りを行ってください。</p>	<p>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</p>
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよ そ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○			<ul style="list-style-type: none"> よくできていると思います。その方の生活全体を見て、自事業所サービスに留まらず、何が必要かを多角的に検討し支援に当たっていると思います。 親族や地域との関係性が希薄な高齢者世帯が増えてきている中、職員全員が日々模索しながら新たな情報をキャッチされているかと思います。 会議での報告から、利用者本人だけでなく利用者を取り巻く環境を含めたアセスメントが成されていると感じます。 引き続き、個々の状況に合わせたサービス提供に関する取組を実施頂ければと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	○				<ul style="list-style-type: none"> 看護小規模の強みであると考えます。今後も継続をお願いします。 引き続き、ICT機器等を活用 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたア

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		ケース台帳に加え、記録タブレットを活用し、介護職、看護職、ケアマネの三者で常に確認および共有できるしくみとなっている。				して情報共有を行いやすい環境作りを実施して頂ければと思います。	セスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○			<ul style="list-style-type: none"> 利用者、家族、職員とが安心して意見交換できるような関わりや関係作りを今後もお願いいたします。 引き続き、個々の意向や状況に合わせた計画の作成を実施頂ければと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		○			<ul style="list-style-type: none"> 本人の心身機能を評価し安全にも留意しながらの計画立案を今後もお願いします。 引き続き、個々の能力に応じて自立支援に繋がる計画の作成を実施頂ければと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・看護小規模の強みを活かして病状の予後予測を行いながらの計画作成を今後もお願いします。また、予後予測に伴った生活環境の見直しなども併せてお願いします。 ・引き続き、事業所内外で情報共有を行い、状況変化の予測とリスク管理を踏まえた計画を作成頂ければと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・よくできていると思います。管理者不在時でも職員同士が共有し、利用者の安全を守るための行動をされていると思います。 ・利用者の状況変化など連絡ノートや電話で直接家族に連絡していただき、手厚いサポートをして頂いている。 ・現場職員が状況や緊急性など 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		行い対応するようにしている。				を判断しながら対応できることは強みであると思います。 ・引き続き、ご利用者の状況変化を把握する取組を実施頂き、また、現場判断で対応を行った際は、対応後に必ず管理者等に報告し、情報共有を行ってください。	
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		○			<p>・訪問時、何気ない会話でも職員さんと接することで、良い刺激になっていると思う。</p> <p>・職員一同、笑顔で心を一つに頑張っていると思います。</p> <p>・訪問を基本とすることで利用者が1日でも長く住み慣れた環境で過ごすことを可能としているように感じます。本人の意向と安全とを良いバランスで保てるよう日々の評価や検討をお願いします。</p> <p>・引き続き、ご利用者の状況に応じたサービスの提供を実施</p>	<p>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・自宅を拠点とするケアを念頭に、訪問を重視したサービス提供を心掛けている。</p> <p>・訪問時には、ご利用者を含めた世帯状況の把握や変化の共有を行っている。</p> <p>・特に独居や認知症ご利用者宅の訪問時は、不審者の訪問有無や勧誘・詐欺被害のおそれがないか確認や注意喚起を行い、状況によっては別居のご家族に情報提供を行うようにしている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・よくできていると思います。 ・必要時に受診に同行し、医療機関に必要な情報提供をしています。 ・状況に応じてより適した方法での情報共有を今後も願います。 ・引き続き、関係機関との情報共有に関する取組を実施頂ければと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・負担が偏らないよう役割分担など必要時に見直しながら継続をお願いします。 ・引き続き、それぞれの職種同士でコミュニケーションを取りながら協働し、柔軟なケア 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
						<p>の提供を実施頂ければと思います。</p>	<p>供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に 応じた柔軟な役割分担を行うこと が重要です</p>
20	○ 利用者等の状況について、 介護職と看護職が互いに情 報を共有し対応策を検討す るなど、両職種間の連携が 行われている		○			<p>・項目5と同様。 ・引き続き、ICT機器を活用し た情報共有の取組を実施頂け ればと思います。</p>	<p>✓ 「介護職と看護職の情報共有お よび対応策の検討」について、充 足度を評価します</p>
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対し て、疾病予防・病状の予後予 測・心身の機能の維持回復 などの観点から、情報提供 や提案等を行っている		○			<p>・疾病や病状など専門性の高い 内容については介護職をはじ めとした多職種および利用者 (家族の含む) に対し、理解 しやすい方法や内容をかみ砕 いて生活レベルに落とし込ん だ情報提供を今後もお願いし ます。 ・引き続き、ご家族への情報提 供等を実施頂き、サポートに 繋がる取組を実施頂ければと 思います。</p>	<p>✓ 「看護職の専門性を活かした、介 護職への情報提供や提案等」につ いて、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、 看護職の専門性を活かした役割 の1つとして期待されます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ できて い る	あまりで きてい ない	全く できて い ない		
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・料金面で難色を示される方もいるかもしれませんが、必要性和事業所の特色がマッチしていれば、必ずしも高額という訳ではないと思います。今後もパンフなどを活用した事業所説明をお願い致します。 ・具体的な利用例はとても分かりやすく、大変参考になった。 ・サービスの内容および特色が一度の説明では伝わりづらいため、サービス利用開始後も理解度を確認しながら適宜説明をお願いします。 ・引き続き、ご利用者、ご利用予定者、ご家族が利用開始後の生活等をイメージしやすくなる取組を実施頂ければと思います。 	<p>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国から公式的に発出されているサービスイメージ図に加え、具体的な利用例を示した事業所独自のパンフを活用し説明を行っている。 ・説明時には対象者の状況に応じ、分かりやすい言葉を用い、具体的な例えを加えながら理解に至るよう配慮を心掛けている。 ・加えて、事業所見学時や利用開始時だけでなく、不明な点や確認したいことが生じた場合は、いつでも遠慮なく問い合わせさせて頂くよう申し添えている。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族によっては認知症という病気そのものに対する知識や理解が充分でない場合もあるかと思っておりますので、今後ともご配慮して頂ければと思います。 ・様々な状況の利用者が登録されていると思っておりますので周囲に協力を求めながら無理のない範囲で実施してください。 ・ご利用者の状況に合わせた対応を実施頂けているため、今後も継続頂ければと思います。 	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・疾病や病状など専門性の高い内容については介護職をはじめとした多職種および利用者（家族の含）に対し、理解しやすい方法・内容をかみ砕いて生活レベルに落とし込んだ情報提供を今後も願います（項目 21 と同様） 	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い			
		サービスに組み込み、療養生活上の助言や 対応方法を伝え、安心感につながるよう努 めている。				・ご利用者、ご家族の安心に繋 げるための取組を継続して実 施して頂ければと思います。		
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有								
25	○ 利用者本人（意思の決定・表 示ができない場合は家族 等）の希望や意向を把握し、 サービスの提供に反映して いる		○			<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・容態悪化時や終末期のみに限らず、プラン更新時をはじめ、平時から本人様やご家族の意向（の変化の有無）を確認し、ケアに反映するよう努めている。 ・また、入院時はつど治療経過や予後等を確認し、本人様やご家族の治療に対する考え方や退院後の生活への意向を踏まえ、サービス等の調整や紹介を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者自身や家族が今後を具体的に考えるきっかけになるかと思しますので、引き続きよろしくお願い致します。 ・ACPの観点からも利用者がどのような人となりか、どのような生活を望まれる（望んでいたか）を確認しサービスに反映してください。 ・引き続き、ご利用者、ご家族の希望や意向を踏まえたサービスの提供を実施頂ければと思います。 	✓ 「サービス提供への適切な反映」 について、充足度を評価します
26	○ 在宅生活の継続の可否を検 討すべき状況を予め想定 し、その際の対応方針等につ いて、利用者等と相談・共 有することができる		○			<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の関わりや担当者会議等を通じ、現在や将来的に想定されるリスクを共有し、対 	<ul style="list-style-type: none"> ・今現在に加え「少し先」の状況を想定しての計画策定や方針の確認およびその実行をお願いします。 ・ご利用者やご家族の状況に合 	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>応策の検討や共有を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、入院時はつど治療経過や予後等を確認し、本人様やご家族の治療に対する考え方や退院後の意向等を踏まえ、サービスの調整や選択のサポートを行っている。 ・ご利用者やご家族によっては、事前に想定ができなかったり方向性が定まらない方もいらっしゃるため、意向やタイミングを計りながら検討の機会を持つことも必要であると考えている。 				<p>わせて、適宜サポートを実施頂くよう取組を継続頂ければと思います。</p>	
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している		○			<p>・看取り対応が可能であることの説明を継続して頂くこと、病状にもよりますが入院時は医療機関に（家族の選択肢として）看護小規模で看取り対応が可能であることを伝えていくことも今後検討ください。</p> <p>・ご利用者、ご家族から対応を求められた際に対応できるよう、引き続き体制の整備をお願いします。</p>	<p>✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」</p>
		<p><u>具体的な状況・取組内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度現在までにおいて、対象者なし。 ・看取りの体制は整えており、利用相談の時点から利用者の状況に応じ、看取りまで対応が可能であることを、本人様やご家族に説明している。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している		○			<ul style="list-style-type: none"> ・円滑に在宅生活がスタートできるよう、様々な関係機関と連携し準備をされていると思います。 ・業務の状況に応じて可能な範囲で介護職の皆さんにも事前訪問等に同行頂くこともご検討ください。 ・ご利用者の実態に即したケアに繋がる取組を継続頂ければと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関や親族との関係が希薄なケースもありご苦労されているかと思いますが、本人との信頼関係を構築しつつ進 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生す

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>利用開始前や定期受診時に、ご家族経由で主治医に確認や相談を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居の方やご家族経由での確認や相談が難しい場合や、より細部の確認や調整が必要なケースは、ケアマネや看護師が介入したり、直接主治医に問い合わせを行うこともある。 ・主治医からの指示事項については、ケース台帳への記載やフェニックスネット（記録タブレットへの入力）にて関係者間で共有できるようにしている。 				<p>められていられると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時、医療機関等から病状をはじめとした問い合わせがあった場合に対応できるよう事業所内での情報共有をお願いします。 ・関係各所と円滑に連携を取れるように情報共有に関する取組を継続頂ければと思います。 	<p>評価の視点・ 評価にあたっての補足</p> <p>る前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</p>
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・平時から対応方法の確認および定期的な見直しをお願いします。 ・ご利用者、ご家族への急変時の対応の説明について、引き続き当事者様の理解を得るための取組を継続頂ければと思います。 	<p>✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記「29」参照。 ・救急搬送に備え、本人様やご家族に予め搬送希望先を確認しているが、総合三病院が平時からのかかりつけでない場合や特定の疾患でない場合は、現在の救急医療体制から当番病院に搬送となる可能性が高い旨も説明し、ご理解頂くよう努めている。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・会議の場が地域課題の抽出や情報提供、互いの学びの場となっている。今後も同様に積極的な情報交換の場となることを期待します。 ・事例検討の実施等、参加者による検討が行えるように会議が開催実施されていると思います。 <p>建物の構造上、会議の際に事業所の様子を窺うことができないため、普段の様子を写真等で拝見させて頂けると、なお良いと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができ	○				<ul style="list-style-type: none"> ・音声を拾って記録してくれるアプリを有効に活用されてい 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い			
	るような方法での情報発信 が、迅速に行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・上記「6」を参照。 ・議事録については、会議開催後1週間以内に作成し、事業所エントランスに掲示する ようにしている。				ると感心しました。欠席した 時もすぐに議事録をくださり ありがとうございます。 ・今後も継続をお願いします。 ・当事者、及び第三者への開示 方法に関する取組を引き続き 継続頂ければと思います。	信」の2つの視点から、充足度を 評価します	
33	○ サービスの概要や地域にお いて果たす役割等につい て、正しい理解を広めるた め、地域住民向けの積極的 な啓発活動が行われている		○			<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・長岡市の委託事業である「オレンジカフェ (認知症カフェ)」を毎月開催し、参加者への 啓発や情報発信を継続している。 ・また、園内他事業所と協働し、小学校の福 祉体験教室への参画も行っている。 ・事業所の地域交流スペースを地域の方に開 放し活用して頂くことを通じ、事業所およ びサービス、地域の拠点としての存在のPR を行っている。	・オレンジカフェの開催など啓 発活動や地域に向けた情報発 信をされていると思います。 コミセン等でのイベントにも 積極的に参加することで地域 交流を通し、啓発に結びつけ ることができるかと思いま す。 ・地域交流スペースが使えると いうことはこの職に就いて初 めて知りました。もっと多く の方に知って欲しいなと思 います。 ・地域住民への福祉教育の一翼 を担っていると感じます。 今後もその間口を広く開放し	✓ 「積極的な啓発活動」について、 評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や 「地域説明会の実施」などの取組 が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的 とした活動等は除きます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
						<p>て頂くことに期待します。</p> <p>・オレンジカフェでの様々な講座の開催等、啓発活動に関する取組に対して工夫をされていると感じます。</p>	
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	○				<p>・今後も継続をお願いします。</p> <p>・引き続き、登録者以外を対象とした訪問看護の受け入れに関する取組を継続頂ければと思います。</p>	<p>✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</p> <p>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整ってお		○			<p>・医療機関とも情報共有をしながら利用者・職員ともに無理が生じない範囲での受け入れ</p>	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよ そ でき てい る	あまり で きてい ない	全く で きてい ない		
	り、積極的に受け入れている					<p>をお願いします。</p> <p>・引き続き、関係各所と協議を行いながら様々な場面で対応するための仕組み作りを実施頂ければと思います。</p>	<p>が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		○			<p>・受け入れの際は医療機関、必要時医療機器メーカーとも連携して調整をお願いします。</p> <p>・対象者の受け入れを想定して、柔軟に対応できるように体制の検討と整備をお願いします。</p>	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
						<p><u>具体的な状況・取組内容</u></p> <p>・今年度現在までにおいて、対象者なし（過去において対象者なし）</p> <p>・受け入れの場合は、ご家族や医療機関等との連携を図り、細部の検討および調整を行い対応していく。</p>	
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		○			<p>・看取りの選択肢について、家族や利用者本人に対して早い段階で情報提供して頂ければと思います。</p> <p>・終末期の段階に生じる利用者、家族の揺らぎに寄り添いながら多職種、多機関との適</p>	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」</p>
						<p><u>具体的な状況・取組内容</u></p> <p>・上記「27」「36」を参照。</p> <p>・現時点でまだ終末期の段階ではないが、今後状態低下を来した際は看取りをご希望されている方を受け入れ中。</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い			
						<ul style="list-style-type: none"> ・過去にも看取りの実績があり、事業所としての受け入れ体制も整えてあるが、ご希望があった際にはご家族や主治医等とご利用者個別の状況を踏まえた具体的な連携方法等、細部を詰め対応していく。 ・また、終末期への過程で本人様やご家族の当初からの意向の変化も想定されることから、容態に応じ、つど意向の再確認も必要であると考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 切な連携を今後もお願いします。 ・ご利用者、ご家族の意向を踏まえたケアを実施できるよう、引き続き対応方法の検討を実施頂ければと思います。 	<p>の視点から、充足度を評価します</p>
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画								
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解								
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している		○			<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事業所はじめ、こぶし園全体として従前から地域包括ケアシステムの構築や進展に向け、職員間で共通認識を持ち、地域に目を向けた取り組みを展開している。 ・今年度当事業所では、地域に対する介護予防の取り組みの一環として、園内の健康倶楽部の活動をオンラインでつなぎ、サテライト会場として試験的な開催を試みた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい取り組みにチャレンジし、地域包括ケアシステムの構築に取り組みされていると思います。 ・今回のオンライン活用等、新しい試みを実施することで、長岡市内で生じている社会資源の地域差解消に繋がると感じました。今後も様々な試みが地域包括ケアシステムの構築と深化に寄与することを期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
						<ul style="list-style-type: none"> 地域包括システムの構築や進展への取組については、法人全体で積極的に取り組んでいると感じます。 また、事業所としても地域での福祉の拠点としての役割を果たすために積極的に取り組む姿勢が見られます。 	
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	○				<ul style="list-style-type: none"> 引き続きお願いします。 引き続き、地域密着型サービスの趣旨に沿ってサービスを提供頂ければと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に		○			<ul style="list-style-type: none"> 業務の調整ができる日は、できるだけ介護職員や看護職員 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	応じて課題提起や改善策の 提案等が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・運営推進会議や外部の研修会を通じ、 必要な意見や提案等を提示している。 ・管理者やケアマネだけでなく、介護職や看 護職からの意見や提案等をより引き出す 工夫や機会が必要であると考えている。				に会議に参加して頂くと良い と思います。 ・運営推進会議が地域課題の発 見や地域への課題提起の場と なっている。また、介護保険 をはじめとした公的制度に対 する住民の理解度を確認する 場にもなっている。 今後も看護職員、介護職員の 参加を積極的に促して頂きた いです。 ・多角的な視点を基に提起、提 案を行えるように意見、提案 等を引き出すための取組を継 続頂ければと思います。	価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じ て得た情報や知見、多様な関係者 とのネットワーク等を活用し、必 要となる保険外サービスやイン フォーマルサービスの開発・活用 等、利用者等のみでなく地域にお ける課題や改善策を関係者に対 して提案していくなどの役割も 期待されます ✓ そのような取組をしたことがな い場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対 し、その介護力の引き出し や向上のための具体的な取 組等が行われている		○			・自己評価に記載されていると おりだと思えます。 今後もその視点での実践をお 願いします。 ・看多機のサービス普及に向け た取組について、引き続き啓 発活動を継続し、利用促進に 繋げて頂ければと思います。	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介 護力の引き出しや向上のための 取組」について、その充足度を評 価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣 住民の関わりを促しながら、関係 者全員の介護力を最大限に高め ることにより、在宅での療養生活

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		発を行っているが、事業所およびサービスの認知度や浸透がまだ不十分に感じられる。引き続き、地域のニーズを捉えながら地域の拠点として何をすべきか、何ができるかを考え、実践につなげていきたい。					<p>を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<p>① ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実的（実現可能）で評価がしやすい目標設定を心掛けている。 ・目標評価についてはケアマネの目線だけでなく、日々直接ケアに従事する職員と共働で実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも同水準で達成できるようお願いします。現場職員の意見を吸い上げながらの計画策定はぜひ継続をお願いします。 ・引き続き、多角的な観点で課題を提起し、計画目標を立てるための取組を実施頂ければと思います。 	<p>✓ 「計画目標の達成」について、評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	<p>① ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度のご利用者満足度調査の結果から、殆どの方がサービス利用により、安心感や満足感を得て頂けているのではないかと考えられる。 ・独居のご利用者も多く、別居のご家族や遠方のご家族に対し現況報告や情報提供を行うことで、安心感の担保に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度調査および日々の関わりから、利用者および家族が安心感を得られているか、定期的な確認をお願いします。 ・調査等を継続し、ご利用者、ご家族の安心感に繋がるように課題を提起して頂ければと思います。 	<p>✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します</p>
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>① ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ACPの視点が注目されている中で、在宅看取りの選択肢が提案できることの重要性を感じます。今後も継続をお願いします。 	<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内(通い・</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・現時点でまだ終末期の段階ではないが、今後状態低下を来した際は看取りをご希望されている方については、サービス利用に加え主治医のサポートもスムーズに得られる体制となっており、安心感が得られている。</p>	<p>・引き続き、看取りに対する体制作りを継続し、ご利用者、ご家族の安心感に繋がる取組を実施頂ければと思います。</p>	<p>泊まり)での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>